

(鹿児島市)

健康食品・食品の製造・販売を通して、全国のご家族に元気と健康をお届けします。

創業から46年、主に健康食品の製造・販売を行ってきました。その中でも主力の『伝統にんにく卵黄』は、発売から28年間愛され続け、販売累計1億4,800万袋を突破しています(2021年12月調べ)。その『伝統にんにく卵黄』は、安心・安全の証であるGMP認定を取得した「霧島工場」で製造を行っています。また、素材の有用性を追及するための研究を行う「にんにく総合研究所」を併設し、常に高品質な製品を提供し続けています。



会社ロゴ

会社概要

2024年2月現在

■所在地	〒892-0848 鹿児島県鹿児島市平之町 10-2
■TEL	099-223-5211
■FAX	099-222-2363
■E-Mail	info@kenkoukazoku.co.jp
■URL	http://corporate.kenkoukazoku.co.jp/index.html

■代表者	代表取締役社長 藤 朋子
■設立	1989年(平成元年)4月
■資本金	5,000万円
■従業員数	370人
■事業概要	健康補助食品・食品 全国通信販売
■主要製品	健康補助食品

「GMP認定」取得工場で製造

霧島市にある「伝統にんにく卵黄」の自社工場では、安心・安全の証である「GMP認定」を第三者機関による審査を受けて取得し、徹底した安全管理体制のもとで製造を行っています。原料の受け入れから製品化まで全ての工程を細かくマニュアル化し、独自の検査項目を設定して人の目と手によって二重三重にチェックしています。衛生管理も徹底しており、1回の製造ごとに丸一日かけて機械を分解洗浄。安心安全な製品をお届けするために、効率よりも品質や安全性を優先した製造を行っています。



洗浄が徹底された製造機器

製造を支える「にんにく総合研究所」

自社工場で製造した製品や工場内設備の衛生検査、成分値の測定等といった品質管理は、併設された「にんにく総合研究所」で行われています。検査結果を基に安全性の確認、更には継続的な改善を図りながら、工場の安心・安全な製品づくりを支えています。品質管理だけでなく、にんにくの成分や作用、抽出分離の研究を行い、その研究成果は自社農場でのにんにく栽培や商品開発等のものづくりにも反映。また日本大学、鹿児島大学とにんにく成分の新たな機能発見に向けた共同研究も進めています。



「にんにく総合研究所」



生にんにくを製造機に投入



製造中の目視チェック



にんにく総合研究所での微生物検査